

平成27年度学校自己評価システムシート (埼玉県立越谷北高等学校)

目指す学校像	生徒の豊かな人間性を育成するとともに、高い志とチーム力をもって目指す進路を実現させ、社会で活躍できる人材を育成する。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎基本の確立と、学力向上を達成する質の高い授業づくり 2 高い志を醸成し、卒業後も広い視野を持って活躍できる人材を育成する組織的進路指導 3 規律ある生活態度と人権意識を高め、品格ある北高生を育成する生徒指導 4 広く教育活動を発信・公開し、進学校としての評価を高める学校づくり
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	10名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	11名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標					年度評価(2月12日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	課題 次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートでは、進路指導及び学習指導体制への生徒の満足度 87%、保護者の満足度 95%と比較的高い評価を得ている。この信頼に応えるべく、生徒の学力向上を支援する取り組みが必要である。 自学自習力を育成するため、家庭学習の時間を確保し、時間管理能力と予習・授業・復習の学習サイクルを身につけさせる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上・授業改善 学びの個別化・共同化 理数教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 校内外授業研究会(予備校等)参加、模試分析・センター分析会等で戦略的に教科の指導計画を策定する。 生徒の実態と進路希望に即した講習を効果的に設定する。 自学自習力を育成する。(教科課題の調整、部活動時間の徹底、「記録ノート」の有効活用等) 「学び」の多様化を意識した授業研究を進める。 SSH申請に向けて校内体制等の条件整備を進める。 理数科課題研究に係る新規事業、高大連携事業を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たに教科学校自己評価シートの中間報告、達成度評価ができたか。 学校評価アンケート満足度9割以上。 授業評価アンケート家庭学習時間、昨年度比較で向上したか。 学び合い授業の公開と研究会を設定したか。 SSHの認定。 新たな理数科行事が策定できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科中間申告で10月1日段階の進捗状況をまとめ、全職員で情報共有することができた。 習熟度に応じた多様な進路講習を相当数実施した。しかし、満足度は保護者88.1%、生徒85.3%で、目標の9割に届かなかった。 学年ごとの教科課題の調整により、家庭学習時間は、平日の平均が、1・2年生で1.4時間、3年生3.8時間(昨年度から0.2減)だった。 グループワークなどアクティブ・ラーニングを意識した授業を各教科で実践した。 4年間のSSH検討を基盤に、全職員の総意でSSHを申請することができた。 埼玉大学とのHiGEPs、茨城大学との中高生の科学研究実践活動プログラムに参画した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> アクティブ・ラーニングを積極的に授業に導入し、生徒の思考力・判断力・表現力を高める必要がある。 家庭学習時間を確保し、自主的な学習習慣を確立させる。 引き続き読書活動50冊読破を推進する。 理数科課題研究の指導と評価の一体化を研究するとともに、研究テーマの設定と研究成果の発信を工夫する。 理数科卒業生とのネットワークを構築する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 卒業学年は、進路面談や講習等に精力的に取り組み、国立大学合格者数、難関私立大学合格件数等、期待通りの実績を上げた。 しかし、入学時点で8割以上の生徒が国立大学を志望している現状があり、第一志望を最後まであきらめさせない進路指導体制が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「志」の醸成・第一志望の進路実現 ①難関国立大学の受験者数、②国立大学合格者数、③難関私立大学合格件数、④準難関私立大学合格件数の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 進路個別面談・進路ガイダンス・進路講演会等を適切に実施する。 センター試験後の国立2次・後期及び私大対策を充実する。 保護者への進路情報を適切に提供する。 進路部が主導し、平常講習・長期休業中講習等をさらに充実させる。 生徒同士の進路実現のチーム力を促進する。 2020年新テストについて情報収集と対策を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一志望校(6月)合格率を40%以上。 学校評価アンケートの生徒満足度87%以上。 センター国立型受験率(42%) ①難関国立大(19名) ②国立大(85名)、③難関私立大(93件) ④準難関私立大(270件)の昨年度比較。 	<ul style="list-style-type: none"> 11月の第一志望校は、国立大学204名うち難関大は26名、早慶上理は72名G-MARCHが71名であった。進路指導満足度、保護者94.4%、生徒87.6%だった センター試験国立型受験率が45%に増加した。 夏季休業中の進学講習は、90講座、556コマ(×90分)、受講者述べ3673人を実施し、充実した内容になった。 2020年新テスト対策研修会に参加し、情報を共有した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 新テストに向けて具体的な対策を検討する。 進路行事を3年間を見通した系統性のあるものに改善する。 「記録ノート」を改善するなど生徒のスケジュール管理能力を育成する。 進学講習のテーマを明確にし、継続参加率を向上させる。
3	<ul style="list-style-type: none"> 「未来を創造するリーダー育成推進プロジェクト」を有効活用し、豊かな人間性と将来、社会のリーダーとして活躍できる人材の育成を目指した取組を実施している。 正しい倫理観と北高生としての品格を自覚させ、規律ある生活習慣を身につけるように、引き続き指導を徹底する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 倫理観と品格の育成 学校行事・部活動・奉仕活動への積極的な参加 リーダーとして活躍できる人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の励行、整容指導や登校指導、自転車運転マナーアップ講習、SNS等情報通信のモラルに関する指導を徹底する。 部活動加入を促進するとともに全校挙げて文武両道を実践する姿勢を育む。 生徒による主体的な地域貢献活動を実施する。 県指定事業の未来創造・リーダー育成プロジェクト等を活用し、学校行事をとおり指導力・共感力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故件数の減少。 生徒・保護者の生徒指導満足度95%以上。 部活動加入率95%維持。 生徒会・部活動の奉仕活動件数。 各種イベントの参加数(述べ24名)の向上 学校行事の生徒満足度95%の維持。 	<ul style="list-style-type: none"> 重篤な生徒事故は0件だった。 規律やマナー指導により、生徒指導満足度保護者91.8%、生徒81.1%だった。 部活動加入率は、1・2年生で96.2%、部活動満足度は保護者82.9%、生徒90.6%だった。 桜井地区防災訓練など12部活が地域貢献活動を実施した。 本校開催の未来を拓くリーダー育成プロジェクト発表会に他校から17名参加した。 学校行事の満足度、保護者95.0%、生徒90.8%だった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を継続して指導する。 SNSや教育相談に関する研修会を実施する必要がある 未来を拓くリーダー育成プロジェクトの後継事業に参加し、引き続き体験学習を通してリーダー性を向上させる。 健康生活、教育相談等の職員研修会を実施する。
4	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページをリニューアルして組織的に進行管理しているが、さらに地域・保護者のニーズに応じていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域・保護者への情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページの管理・運営体制を整備し、積極的に更新する。 携帯メールサービスを効果的に進める。 PTA後援会、同窓会と連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 更新数、アクセス数(1100/日)増加。 HP・メールの保護者満足度92%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページのアクセス数は1日平均約2000だった。 ホームページ・携帯メールサービスの保護者満足度は、89.6%と目標を下回った。 高P連東部支部長校の役割を果たした。 		<ul style="list-style-type: none"> 美化委員会を活用するなど校内美化を進める。 50周年記念事業に向けてPTA・後援会・同窓会と連携し、進

学校関係者評価	実施日 平成28年 2月17日
学校関係者からの意見・要望・評価	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートでは、学習面だけでなく、学校行事や部活動への生徒・保護者満足度も高い。今後も人格形成と学力向上をバランスよく推進してほしい。 SSHを志向するムーブメントから多様な「学び」を創造することができる。例えば地学(天文)と物理を関係づける等の教科融合、論理的な思考力の獲得、グローバル化を視野に入れたプレゼン能力と英語力の獲得、理数に強い文系生徒の育成などがテーマになるだろう。 「第一志望の進路実現」など進路保証の具体的な目標設定があり、様々な進路講話や講習、丁寧な面接などで生徒の高い志、すなわち覚悟を育てる指導が見られる。その成果が着実に現れている。 校長の学校経営ビジョンに「チーム力」を掲げ、教職員が一致団結して進路目標・方策を実践しており、客観的な評価もきちんとできている。 生徒同士、互いの考え方を理解し合い、切磋琢磨して充実した3年間を過ごしてほしい。 障がい者教育や共生社会の実現などを考える機会として特別支援学校との交流はよいことだ。今後も継続してほしい。 研究活動においても人間関係づくりやコミュニケーション力の育成が重要になってくる。 スマートフォンの使い方にルールを設けるとよい。また、使用を控えて少しでも本に親しんでほしい。 大きな生徒事故がなかった。引き続き、部活や体育行事等での事故防止に努めてほしい。 越北は東部地区の憧れの学校で学校見学者も多いので、美化活動にもっと力を入れたほうが良い。雑巾がけを推奨してはどうか。

<ul style="list-style-type: none"> ・土曜公開授業（ミニ学校説明会）は、PTA・後援会の協力により内容が充実し、中学生等の参加者も増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒募集活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜公開授業のミニ説明会を生徒募集に有効な内容(理数科説明・部活動見学等)に改善する。 ・全職員で生徒募集にあたり、生徒による学校説明会・中学校訪問を円滑に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業参加者数1500以上。 ・土曜授業満足度生徒60%の増加、保護者90%を維持。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜公開の参加者数は1月現在で1588名となり、ミニ説明会も生徒募集に有効だった。 ・土曜授業の満足度、保護者82.8%、生徒60.0%だった。 ・学校説明会や中学校訪問など全職員で生徒募集に当たる意識が高まった。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 備を円滑に進める。 ・高校入試改革に伴い、生徒募集の戦略を見直し・改善する。 ・緊急メールサービス等の危機管理体制の見直しを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価懇話会の様子を新聞部が取材して生徒・保護者・地域へ発信する取り組みは大変ユニークなもので、開かれた学校づくりに有効である。
--	--	---	---	--	----------	---	--